

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90249 (90219)	民族芸術文化学研究B (民族芸術文化学研究B)	2単位 後 (4単位通年)	1~2	講義	鈴木 耕太

※平成27年度以降の入学生：「民族芸術文化学研究B」を登録すること。

※平成26年度以前の入学生：「民族芸術文化学研究B」を登録すること。同一年度内に「民族芸術文化学研究A」（2単位）、「民族芸術文化学研究B」（2単位）の両方を履修して「民族芸術文化学研究B」（4単位）に読み替える。

■テーマ 琉球文学作品の講読と解釈

■授業の概要

琉球文化を表現するものの中から「琉球文学芸能論」について基礎的に学習する。前期に引き続き、詞章解釈を通じて、琉球語の表現やその特性を理解するために、琉歌・組踊を中心とした琉球芸能文学の作品から、作品の背景にある人々の感情や、詠まれた（創作された）世界を捉え、一首・または一作品ごとに琉球語の読解、解釈、鑑賞を検討していく。後期は前期に行った解釈に加え、琉球舞踊や組踊、または祭祀の場で歌われる作品についても言及し、文献だけでなく、観劇やフィールドワークなども加え、深化した発表を行うことを目的とする。

なお、講読するおもろさうし・琉歌・組踊・南島歌謡などのジャンルについては、受講生の専門分野を考慮し、受講生と協議の上決定する。

■学習目標

おもろさうし・琉歌・組踊・南島歌謡など一つの作品を正確に解釈できるようになることを目指す。古典琉球語について、用例にあたり、その語が当該作品でどのような意味を担っているかを明らかに出来るようにする。作品一首の解釈・鑑賞へといたる道筋についてその方法を習得し、一首の鑑賞が出来るようになることを最終目標とする。

■授業計画・方法

第1回 琉球文学芸能論概説	第11回 発表と鑑賞「琉球古典舞踊」
第2回 琉球芸能史概説	(二才踊・若衆踊) より
第3回 作品鑑賞「琉球古典舞踊」(女踊・老人踊)	第12回 発表と鑑賞「組踊」朝薫五番より
第4回 作品鑑賞「琉球古典舞踊」(二才踊・若衆踊)	第13回 フィールドワーク(朝薫誕生の地、首里儀保・末吉宮)
第5回 作品鑑賞「組踊」朝薫五番より	第14回 フィールドワーク(万寿寺・浦添中頭方西街道、玉城朝薫の墓)
第6回 作品鑑賞「組踊」「大川敵討」前半	第15回 本講義のまとめ
第7回 作品鑑賞「組踊」「大川敵討」後半	
第8回 テキスト講読「組踊」「大川敵討」前半	
第9回 テキスト講読「組踊」「大川敵討」後半	
第10回 発表と鑑賞「琉球古典舞踊」(女踊)より	※ 定期試験は実施しない。レポートを課す。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

履修にあたっては、「民俗芸術文化学研究A」のシラバスで提示した内容に加え、琉球舞踊・組踊・年中行事などの祭祀を実際に見聞することがのぞましい。毎回の講義に向けて、事前準備を欠かさないこと。

■成績評価の方法・基準

通常の授業発表(平常点50%)に加え、発表態度、発表レポート(50%)を元に評価を決定する。

芸術文化学研究科(博士課程)の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める

■教科書・参考文献(資料)等

□教科書

なし(必要に応じて指示する)

□参考文献

「民俗芸術文化学研究A」の参考文献の他に、池宮正治『琉球文学芸能論』、矢野輝雄『組踊への招待』『組踊を聴く』などを参考文献とする。